

Techno Report

テクノレポート

82

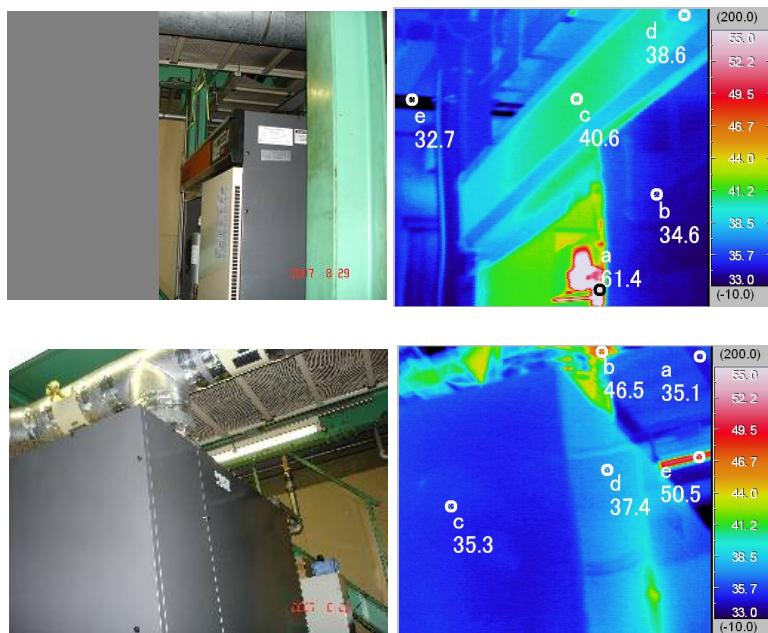
空気圧縮機は、電気や水と共に生産工場のみならず、あらゆる産業分野に貢献しております。この空気圧縮機はその原理上発熱がつきものであり、特に気温が上昇する夏場においては、空気圧縮機周囲温度の上昇に伴う故障停止(～110 程度)が増加します。また気温上昇に伴う空気膨張により、空気吸入効率が悪化(30 で1割悪化)することでエネルギーをロスすることになります。これらの悪影響を予防して、圧縮空気の安定供給とエネルギーロスの最小化に向けて、温度の上昇を予防しましょう。この際に有効な熱画像による温度測定事例を紹介します。

空気圧縮機の故障予防と、吸入効率ロス低減のために、室内温度を下げましょう

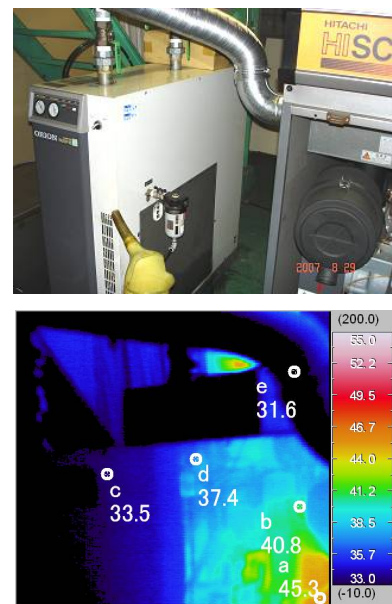
サーモカメラの熱画像による温度測定事例



空気圧縮機パネル面



エアドライヤーパネル面



発行 藤田テクノ株式会社 テクノレポート発行委員会
〒370-0069 群馬県高崎市飯塚町1174-5 TEL 027-361-8111 FAX 027-363-1922
太田支店 TEL 0276-46-1348 埼玉支店 TEL 049-279-3011
URL: <http://www.fujita-tec.co.jp> MAIL: m-takagi@mail.fujita-tec.co.jp (メール配信ご希望の方はこちらまで)

2008年11月10日発行
編集 / 川田 都木
問合せ先 : 技術部 / 都木 橋場

本紙は、弊社よりの納品書等の郵送時に同封させて頂きますので重複等が発生する事がございます。予めご了承下さい。